

操作のしくみと表示の見方

※機種により形状や文字板の印刷内容が異なります。

- ストップウォッチモードへの切替えはⒸボタンで行ないます。

時刻モード

インジケーター針
(通常の状態では、この針は動きません)

時針 分針

Ⓐボタン Ⓑボタン

(通常の状態では、この針は動きません)

Ⓒボタン Ⓓボタン

時針 (24時間制) 秒針 日付
(通常の状態では、時を刻みます)

〔曜日〕

土曜日 日曜日
金曜日 月曜日
木曜日 火曜日
水曜日

都市コード 曜日

★「ホームタイム都市」と「曜日」の確認

Ⓐボタンを押すと、約3秒間、「インジケーター針がホームタイム都市(都市コード)」を、「秒針が曜日」を指し示します。

※都市コードについては、「都市コード一覧表」をご覧ください。

ストップウォッチモード

秒針 時針(24時間制)/分針

Ⓑボタン

- ・スタート
- ・ストップ

Ⓓボタン

- ・リセット

1/20秒針
(計測スタートまたは再スタート後の1分間のみ動きません)

※「時刻モードでⒷボタンを押して、すぐに計測を始める方法」もあります。

Ⓒボタン

Ⓓボタン

(リセット状態(SAM))

時刻モード

Ⓒ

↑

アラームモード

「ALM」を指します

Ⓒ

↓

ワールドタイムモード

都市コード

Ⓒ

- ストップウォッチモード以外のモードへの切替えはⒸボタンで行ないます。Ⓒボタンを押すごとに、左図のようにモードが切り替わります。
- ※モード切替え後、約1.5秒経ってから針が動き出して、そのモードの時刻を指し示します。針が動いている間は、他のモードへの切替えだけが行なえます。
- ※アラームモードで2~3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

ストップウォッチの使い方

- 時刻モードのときに、Ⓓボタンを押すとストップウォッチモードの計測リセット状態(左記参照)になります。
- Ⓑボタンを押すと、ストップウォッチの計測が始まります。

ストップウォッチは1/20秒単位で23時間59分59秒95(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

●計測リセット状態

ストップウォッチモードの時針(24時間制)/分針、秒針、1/20秒針が12時位置を指し示している、以下の状態のことです。

- 計測中ではない
 - 計測の一時中断中ではない
 - 計測値の表示中ではない
- 計測リセット状態にするには、「計測中」、「計測の一時中断中」、「計測値の表示中」にⒸボタンを押します。

なお、計測リセット状態でⒸボタンを押すと、時刻モードに切り替わってしまいます。

時針(24時間制)/分針 秒針

1/20秒針
(計測スタートまたは再スタート後の1分間のみ動きません)

Ⓒボタン

〈時刻モード〉

〈ストップウォッチモード〉

インジケーター針が一周します。

※ストップウォッチモードでは「秒針」になります。

Ⓓボタン

秒針が12時位置*に移動します。

*機種によっては、0ではなく60と印刷されています。

※ストップウォッチモードでは「1/20秒針」になります。

時針(24時間制)/分針

- 時刻モードのときに、Ⓑボタンを押すと同時に計測が始まります。
- ※1秒以内の計測は行なえません。
- ※以下の状態のときは、時刻モードでⒷボタンを押してもストップウォッチの計測が始まりません。

■ストップウォッチモードへの切替え方法

ストップウォッチモードに切り替えるには、2つの方法があります。

- 日付の更新中(23:59 59秒~更新が終わるまでの間)
- アラームモードで設定したアラーム時刻の2秒前から、アラーム音が鳴っている間

〈時刻モード〉

Ⓑボタン

〈ストップウォッチモード〉

秒針が運針します。ストップウォッチモードの「1/20秒針」になり、計測が始まります。

■計測のしかた

時刻モードまたはストップウォッチモードで行ないます。

秒針 時針(24時間制)

Ⓑボタン

- ・スタート
- ・ストップ

Ⓓボタン

- ・リセット

1/20秒針

■時刻モードへの切替え方法

計測リセット状態(「ストップウォッチの使い方」参照)で、Ⓒボタンを押します。

〈ストップウォッチモード〉

Ⓒボタン

〈時刻モード〉

秒針:12時位置 時針(24時間制)/分針:12時位置 時刻モードでは秒針になり、運針します。

1/20秒針:12時位置(0位置)

Ⓑボタン → Ⓑボタン → Ⓓボタン

スタート → ストップ → リセット

- ※1/20秒針は、計測スタートまたは再スタート後の1分間のみ動きません。
- ストップ後は、計測値を表示します。
- ※計測中にⒸボタンを押しても、リセットされません。

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押して、ワールドタイムモードに切り替えます。

ワールドタイムモードでは、世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を調べることができます。



■ ご注意

選択都市の時刻が合っていないときは、ホームタイム都市の設定を確認し、違っているときは正しく直してください。
 ※ホームタイム都市設定は「ホームタイムデータ（時刻・カレンダーなど）の合わせ方」をご覧ください。

■ ホームタイム都市との入れ替え

現在ワールドタイムモードで選んでいる都市を、ホームタイム都市と入れ替える（ホームタイム都市に設定する）ことができます。

例：ホームタイム都市をニューヨーク（NYC）から東京（TYO）に設定する。

	ホームタイム都市	ワールドタイムモードでの都市
操作前	ニューヨーク(NYC)	東京(TYO)
操作後	東京(TYO)	ニューヨーク(NYC)

1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき

ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます



■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

ⓐ ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとにインジケータ針が1都市ずつ進みます。

※ **ⓐ** ボタンを押してから約1.5秒後にワールドタイム針の時刻が選択都市の時刻にかわります。
 なお、時刻を表示する（針が止まる）までに時間がかかる場合があります。

※ 選んだ都市の時刻を表示するために針が動いている間は、「**ⓐ** ボタンを押して他のモードに切り替える」以外の機能は動きません。



2. ホームタイム都市を入れ替える

ⓑ ボタンを約3秒間押し続けます

⇒ 確認音が鳴り、1. で選んだ都市（東京）がホームタイム都市になります。

※ 操作を行なう前のホームタイム都市（ニューヨーク）がワールドタイムモードの選択都市になり、ワールドタイムモードの時刻が修正されます。



■ ご注意

日本でお使いの場合は、必ずホームタイム都市を「TYO」に設定してください。

■ サマータイムについて

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

● ON

サマータイムはONに設定されていて、スタンダードタイムより1時間進んでいます（夏時間）。

● OFF

サマータイムはOFFに設定されています（スタンダードタイム）。

● サマータイムのON / OFF 確認

ワールドタイムモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 秒針が、約3秒間、サマータイムの現在の設定を指し示します。



「ON」または「OFF」を指します

● サマータイムのON / OFF 設定

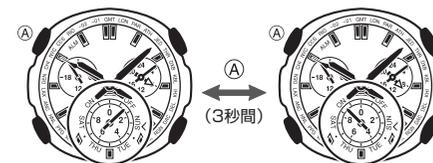
ワールドタイムモードのとき

ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます

Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

⇒ **Ⓐ** ボタンを約3秒間押し続けるごとに、確認音が鳴り、サマータイムのON / OFF が切り替わります。

※ サマータイムは各都市ごとに設定することができます。ただし、「GMT」にはサマータイムの設定はできません。なお、「ホームタイム都市」に設定されている都市のサマータイムの設定を変更した場合は、時刻モードの時刻もこの設定にあわせて修正されます。



■ 都市コード一覧表

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
GMT	+0.0	〈グリニッジ標準時〉	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0.0	ロンドン	SYD	+10.0	シドニー
PAR	+1.0	パリ	NOU	+11.0	ヌーメア
ATH	+2.0	アテネ	WLG	+12.0	ウェリントン
JED	+3.0	ジェッタ	PPG	-11.0	パゴパゴ
THR	+3.5	テヘラン	HNL	-10.0	ホノルル
DXB	+4.0	ドバイ	ANC	-9.0	アンカレジ
KBL	+4.5	カブール	LAX	-8.0	ロサンゼルス
KHI	+5.0	カラチ	DEN	-7.0	デンバー
DEL	+5.5	デリー	CHI	-6.0	シカゴ
DAC	+6.0	ダッカ	NYC	-5.0	ニューヨーク
RGN	+6.5	ヤンゴン	CCS	-4.0	カラカス
BKK	+7.0	バンコク	RIO	-3.0	リオデジャネイロ
HKG	+8.0	香港			
TYO	+9.0	東京			

※この表は2007年6月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

※各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

★2007年12月にCCS（カラカス）の時差が「-4.5」に変更になっていますが、本機では対応しておりません。「時差-4.0の地域」としてご使用ください。

アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい**Ⓒ** ボタンを押し、アラームモードに切り替えます。

アラームモードでは時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。

※アラームは時刻モードの時刻に合わせて鳴ります。

※アラームモードで2~3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

※アラーム時刻を表示するために針が動いている間は、「**Ⓒ** ボタンを押しして他のモードに切り替える」以外の機能は働きません。

アラーム時刻針
(24時間制でアラーム時刻を表示)

「ALM」を指します



「ON」または「OFF」を指します

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

→確認音が鳴ってアラームが自動的にONになり、秒針がONの位置に移動します。

※セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。



2. セットする

Ⓓ または **Ⓔ** ボタンを押します

→ **Ⓓ** ボタンを押すごとに1分ずつ進み、**Ⓔ** ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

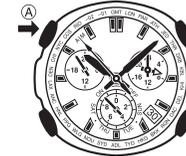
※ **Ⓓ**・**Ⓔ** ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。
早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※アラーム時刻針は、24時間制でアラーム時刻を表示します。セットする時刻の午前と午後を間違えないように、ご注意ください。



3. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

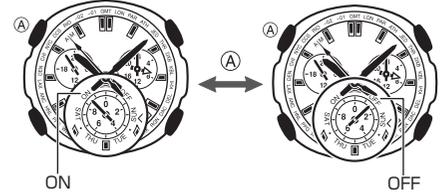


■ アラームのON / OFF

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。



■ 鳴っている電子音を止めるには

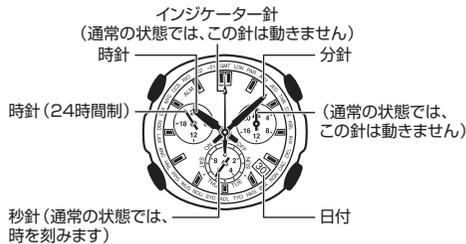
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方

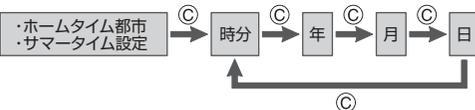
ホームタイムデータ(お使いになる地域や都市、時刻、カレンダーなど)を設定します。

※ホームタイムデータの設定や修正は、時刻モードで行ないます。

〈時刻モード〉



※修正できる項目は、**Ⓒ** ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。項目が切り替わるときに確認音が鳴ります。



■ 「ホームタイム都市」、 「サマータイム設定」を変更する

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

→確認音が鳴り、インジケータ針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動し、秒針がサマータイムの現在の設定を指し示します。

※セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。



2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

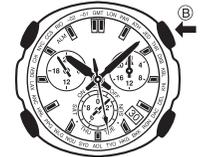
→ **Ⓓ** ボタンを押すごとにインジケータ針が1都市ずつ進みます。



3. サマータイムを設定する

Ⓑ ボタンを押します

→ **Ⓑ** ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



- ON
サマータイムはONになり、スタンダードタイムより1時間進みます(夏時間)。
- OFF
サマータイムはOFFになります(スタンダードタイム)。

※続けて、「時刻、カレンダーを修正する」場合は、「時刻」、「カレンダー」を修正するの手順2に進んでください。ただし、「時刻、カレンダーを修正する」操作に入ると、「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」状態に戻ることはできません。
Ⓐ ボタンを押してセット状態を解除して、「ホームタイム都市」、「サマータイム設定」を変更するの手順1から操作をやり直してください。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

→セット状態が解除されて、変更した設定に対応した時刻に修正されます。
秒針は、時計内部で刻み続けていた秒の値から動き始めます。

■ 「時刻」、「カレンダー」を修正する

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

→ 確認音が鳴り、インジケータ針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動し、秒針がサマータイムの現在の設定を指し示します。

※ セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

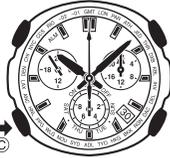


2. 「時刻」、「カレンダー」を修正する状態にする

Ⓒ ボタンを押します

→ インジケータ針が12時位置に移動し、秒針が0位置*に移動します。

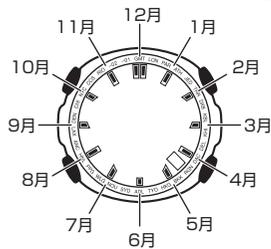
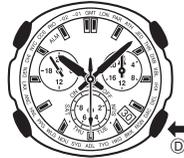
*機種によっては、0ではなく60と印刷されています。



7. 月を修正する

Ⓓ ボタンを押します

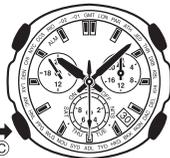
→ Ⓓ ボタンを押すごとに、1つずつ進みます。



8. 「日付修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

→ 日付を修正する状態になります。



3. 時分を修正する

Ⓓ または **Ⓔ** ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。

※ 時を合わせるときは、時針（24時間制）にもご注意ください。

※ 続けて手順4以降で「カレンダーを修正する」場合は、「カレンダー修正の操作に必要な時間」をあらかじめ加えた時刻に合わせてください。

※ 時分の修正だけを行なう場合は、修正後、Ⓐ ボタンを押してください。セット状態が解除され、秒針が0秒から動き始めます（時報に合わせて押しと、正確に合わせられます）。

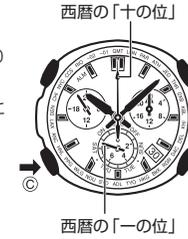


4. 「年修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

→ 年を修正する状態になります。

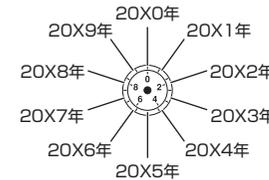
※ 年は、西暦の「十の位」と「一の位」を設定します。



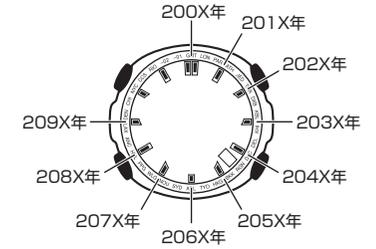
5. 年を修正する

Ⓓ および **Ⓔ** ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに、「一の位」が1つずつ進みます。



→ Ⓔ ボタンを押すごとに、「十の位」が1つずつ進みます。



6. 「月修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

→ 月を修正する状態になります。



「月」を表す位置に移動

9. 日付を修正する

Ⓓ または **Ⓔ** ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに1日ずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。



10. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

→ セット状態が解除され、秒針が0秒から動き始めます。

※ 時報に合わせて押しと、正確に合わせられます。

※ 曜日は自動的に算出されます。



日付は、うるう年および小の月を自動修正します。

針の基準位置合わせ

正しい時刻に合わせても針の位置が合っていないときは、以下の操作を行なって針の基準位置を確認してください。針の基準位置がずれているときは、位置を修正してください。なお、正しい時刻に合わせても針の位置が合っていないとき以外は、この操作を行なわないでください。

1. 基準位置確認状態にする

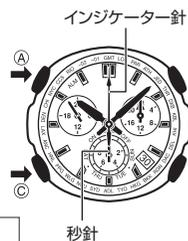
時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを押しながら
Ⓒ ボタンを約3秒間押し続けます

→ 確認音が鳴り、インジケータ針と秒針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
インジケータ針：12時位置
秒針：0位置*

* 機種によっては、0ではなく60と印刷されています。



★インジケータ針と秒針が基準位置にある場合は、手順3.に進みます。

※針の基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

インジケータ針と秒針がずれている場合

2. 基準位置を合わせる

インジケータ針の場合は

Ⓑ ボタンを押します

秒針の場合は

Ⓓ ボタンを押します

→ 針が時計回りで回転しますので、基準位置に合わせます。

※ Ⓑ・Ⓓ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。



3. 時・分針と時針(24時間制)を確認する

Ⓒ ボタンを押します

→ 時・分針と時針(24時間制)が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
時針：12時位置
分針：12時位置
時針(24時間制)：24時位置



★時・分針と時針(24時間制)が基準位置にある場合は、手順5.に進みます。

時針と分針がずれている場合

4. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すことになり、Ⓑ ボタンを押すことに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。
※ 時針(24時間制)は時・分針に連動して動きます。

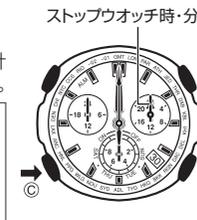


5. ストップウォッチ時・分針を確認する

Ⓒ ボタンを押します

→ ストップウォッチ時・分針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
ストップウォッチ時針：24時位置
ストップウォッチ分針：24時位置



★ストップウォッチ時・分針が基準位置にある場合は、手順7.に進みます。

ストップウォッチ時・分針がずれている場合

6. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すことになり、Ⓑ ボタンを押すことに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

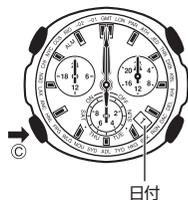


7. 日付を確認する

Ⓒ ボタンを押します

→ 日付が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
日付：1日

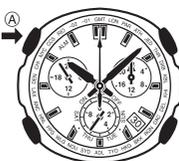


9. 基準位置合わせを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

※ Ⓐ ボタンを押さずにⒸ ボタンを押すと、最初のインジケータ針と秒針の基準位置確認に戻ります。



★日付が基準位置にある場合は、手順9.に進みます。

日付がずれている場合

8. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すことになり、Ⓑ ボタンを押すことに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。



針の基準位置合わせが終了したら、「[時刻]、[カレンダー]を修正する」をご覧ください。